

燃焼改善装置：Eco-Supporter/Vehicle による CO2 排出削減量の算定方法に関する第三者認証報告書

日本エコサポーター株式会社
代表取締役 鹿内 靖 殿

2012年1月23日

認証の対象と目的

株式会社日本スマートエナジー（以下、「当社」という）は、日本エコサポーター株式会社（以下、「会社」という。）からの委嘱に基づき、会社が作成、公表する「燃焼改善装置：Eco-Supporter/Vehicle による CO2 排出削減量の算定方法報告書 平成 24 年 1 月 20 日」（以下、「算定式」という。）に関して認証業務を行った。

認証業務の目的は、算定式に記載されている「6. E-S/V 設置による CO2 排出削減量の算定方法（算定式）」を対象に、会社の定める「3. CO2 排出削減量算定の対象とする製品の定義」、「4.CO2 削減効果の把握の考え方（前提条件）」および「5.基準仕事量の考え方」（以下、「会社の定めた方針」という）を規準として、以下の点について独立の立場から結論を表明することである。

- 1). 会社の定めた方針が客観的に合理的であるか。
- 2). 算定式の構成及び考え方が、会社の定める方針に合致し、客観的に合理的であるか。
- 3). 採用されているパラメーターの採用根拠および出典は、会社の定める方針に照らして客観的に合理的な数値が一貫して採用されているか。

同算定式は会社の責任のもとに作成されたものであり、当社の責任は独立の立場から結論を表明することにある。

実施した手続の概要

本業務は一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査ではなく、従って監査意見を表明するものではない。

認証業務において行った手続の概要は以下のとおりである。

- 1). Eco-Supporter/Vehicle について質問や関係資料の閲覧により対象製品の特定、その機能の概要理解や活用対象車両、燃料の確認を行った。

- 2). CO2 排出削減量算定の前提条件、考え方と、それを具体化した詳細な算定方法を照合し、内容に整合性があり合理的であることの確認を行った。
- 3). 削減量算定式に含まれるパラメーターのモニタリング方法や係数の出典等が合理的であることの確認を行った。

結論

当社の結論は、以下のとおりである。

- 1). 会社の定めた方針が客観的に合理的でない認められる重要な事項は、当社が実施した手続の範囲では発見されなかった。
- 2). 算定式の構成及び考え方について、会社の定める方針に合致し客観的に合理的ではない認められる重要な事項は、当社が実施した手続の範囲では発見されなかった。
- 3). 採用されているパラメーターの採用根拠および出典について、会社の方針に照らして客観的に合理的な数値が一貫して採用されてはいないと認められる重要な事項は、当社が実施した手続の範囲では発見されなかった。

株式会社日本スマートエナジー

代表取締役 豊田 麻友美



2305003